

「マーケットの浅読み・深読み」

発行・編集:FXニュースレター

執筆担当:斎藤登美夫

◆◆◆ No.0518 ◆◆◆

19/01/23

【 サイクル的に見て3日安値は「短期波動底値」の可能性 】

ご存知のように、ドル/円相場は年明け早々の1月3日、一時104.10円まで値を下げた。その日の高値は108.80円台であり、わずか一日で5円近く値を下げた計算になる。

さて、そんな3日につけた安値が、サイクル的には短期のボトムであった可能性が取り沙汰されているようだ。筆者も、昨年11月14日付の当レターで「2019年は『1-3月』に短期波動の底値示現も」ーとレポートしているが、早くもそのボトムが到来したのかもしれない。今回の当レターでは、改めてサイクルの観点から今年の相場見通しを考えて見たい。

◎年内にもう一度ドルボトム到来も、タイミング的には「年末」か!?

過去の当レターでは何度も報じているように、ドル/円には幾つものサイクルが存在する。そのなかで、ドルの安値と次のドル安値を結んだ「ドル安サイクル」は、期間により大きく3つあることが確認されているようだ。まずは、昨年11月14日付の当レターに掲載した短期から長期波動についてのサイクルを、再掲載しておく(赤字は今回付け足した部分)。

長期波動(66ヵ月)	中期波動(20-25ヵ月)	短期波動(10-15ヵ月)
・11/10/31 75.57	・11/10/31 75.57	・11/10/31 75.57
	↓	・12/09/13 77.13(11ヵ月)
	・13/06/13 9375(19ヵ月)	左同 (9ヵ月)
	↓	・14/10/15 105.20(16ヵ月)
	・15/08/24 116.15(26ヵ月)	左同 (10ヵ月)
	↓	・16/06/24 98.65(10ヵ月)
・16/06/24 98.65(56ヵ月)	・16/06/24 98.65(10ヵ月)	・17/09/08 107.33(13ヵ月)
	↓	・18/03/26 104.57(7ヵ月)
	・18/03/26 104.57(20ヵ月)	・18/03/26 104.57(7ヵ月)
	*暫定値もしくは2018年夏ごろ?	
	↑ が「確定値」に	・19/01/03 104.10(10ヵ月)
2021年ごろ?	19年の年末から20年始にかけて	*暫定値

そのうえで、前回のレポートでは、次のドルのボトムを考えた結論として、中期波動では「2019年の年末近くになって」、短期波動では「来年の1-3月」にボトムをつける公算が大きい気がしているーと報じていたのだが、先で指摘したように今年の年初、突如としてドル/円が急落、10ヵ月ぶり安値である104円台を記録している。

まだ断定するには早いものの、ドルの下げ方が「如何にもセリングクライマックス」という動きだったことなど経験則におけるドル底入れパターンを勘案すると、3日安値の104.10円が10-15ヵ月周期という短期波動のボトムだった可能性が高いのではないだろうか。

仮に、その見通しが正しいとすれば、相場で起こりやすい「ダブルボトム」あるいは「トリプルボトム」の示現を注意しつつも、基本的にドルは底堅い。しばらくドルは戻り歩調をたどるだけでなく、戻り高値を試す展開をたどるものの、前段でも指摘したように、その後再下落し「2019年の年末近く」になり、中期波動におけるドルのボトムをつける公算が大きいと予想する。

つまり、サイクルから考えると、ザックリ言って「年内のどこか(夏 or 秋!?)でドルはトップをつけ、年末に向けて再びドルはボトムをつける」ーというシナリオの現実味が高い気もしないではない。(了)

当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あくまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。また、本稿の無断転載・転送もご遠慮ください。なお、本稿に関する問い合わせは『FXニュースレター』までお願い致します。